

おわりに

平成 17 年 3 月、相生市財政 S O S 宣言を行いました。

「相生市財政 S O S 宣言」の“ S O S ”は、①Survive／サバイブ（生き残る）、②Open／オープン（公開する）、③Slim／スリム（削減する）の頭文字をとったものです。この計画を実施する中で、さらなる情報公開の推進と市民とのパートナーシップを進め、相生市の生き残りをかけるといった意味合いを含んでいます。

「相生市財政 S O S 宣言」を受けた相生市行財政健全化計画の実施にあたっては、次の視点による行政運営を進めていきます。

- ◎市民ニーズを的確に把握し、時代の流れに即応した取り組みを行う。
- ◎費用対効果を意識した行政運営を行う。
- ◎前例にとらわれることのない、柔軟な考えのもとに行政運営を行う。

以上のような視点に立った上で、これまで取り組んできた全ての事業について、その必要性、効果などを一から見直しを行い、事業の優先度を明確にしていく必要があります。

また、相生市行財政健全化計画のアクションプログラムについては、それぞれの実施内容について行政評価システムを活用し、P D C A サイクルにより時代に即応した見直しを行いながら業務に取り組むとともに、行政運営に効果的と思われるN P M（ニュー・パブリックマネジメント）理論の研究・導入検討も行っていきます。

これまでの行政運営を「管理」から「経営」へと、より創造的な視点に変化させていきながら、行政サービスの質と市民満足度の向上を図っていきます。

アクションプログラム

「実行計画」のことを言います。

行財政健全化計画を推進する上で、全事務事業項目を洗い出し、目標期間の平成 22 年度までの効果額等を定めます。

N P M（ニュー・パブリック・マネジメント）

民間企業における経営理念・手法などを可能な限り行政現場に適用することで、行政部門の効率化・活性化を図ることです。

相生市行財政健全化計画

作成年月 平成 18 年 3 月

作 成 者 相生市 企画管理部 企画広報課

〒678－8585 兵庫県相生市旭一丁目 1 番 3 号

TEL 0791－23－7124 FAX 0791－22－6439

E-mail kikaku@city.aioi.hyogo.jp